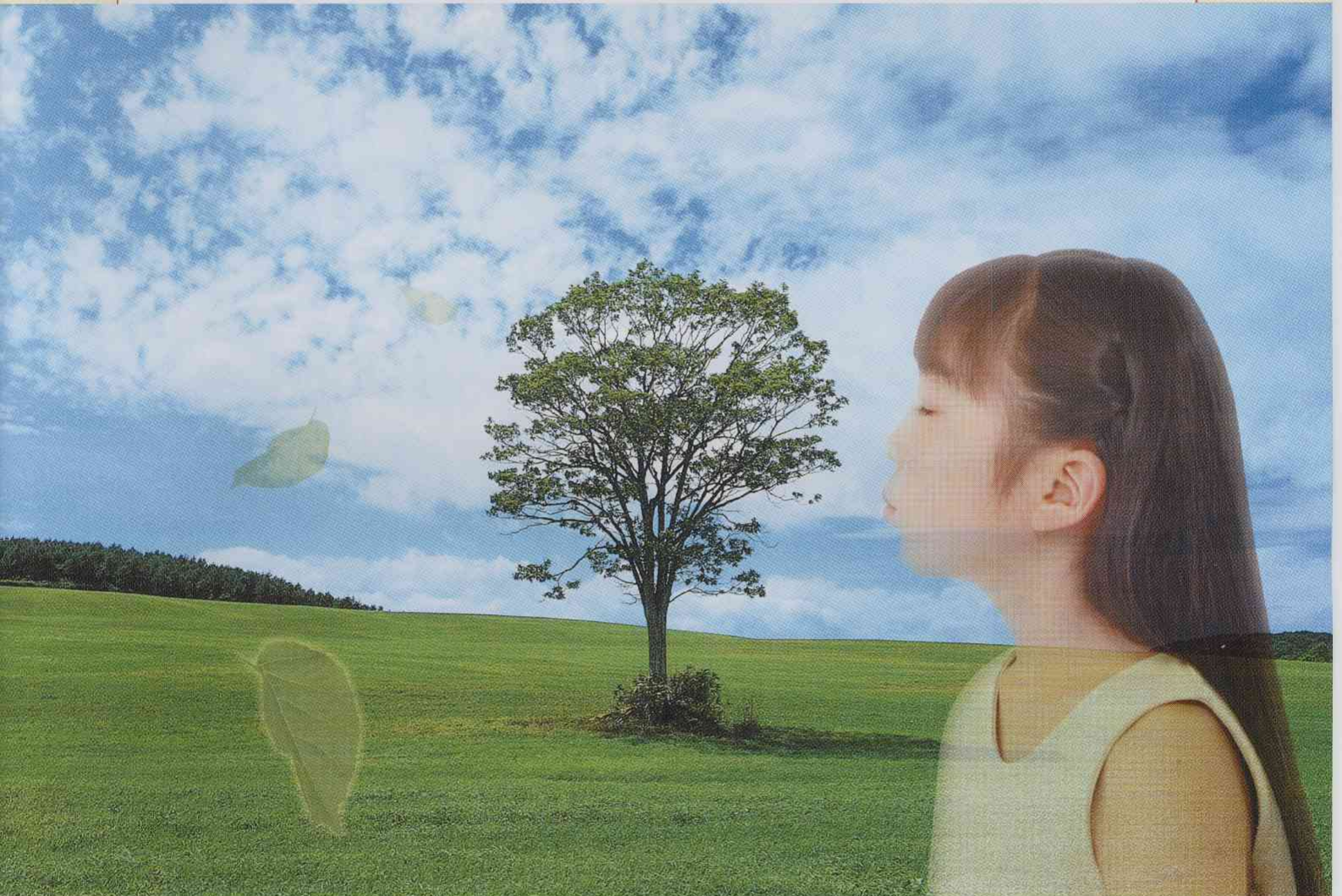


新潟県立看護大学 看護研究交流センター

生涯学習・研修支援事業

平成17年度



新潟県立看護大学

Niigata College of Nursing

看護研究交流センター

Niigata Research Institute of Nursing

新潟県立看護大学
看護研究交流センター
一般公開講座 特別講演

—講演テーマ—

「自らの歩みから得た看護観を
通して看護技術の意味を問う」

ながい としえ
講師 永井 敏枝氏

国際看護師協会東京大会記念奨学基金理事



平成17年

期日

7月9日(土)

会場

新潟県立看護大学

プログラム

講演 ● 13:00～14:30

質疑応答 ● 14:30～15:00

入場料:無料

聴講ご希望の方は、
7月7日までに電話、
FAXまたはe-mail
で参加人数をお知
らせください。

講師のプロフィール

PROFILE

【略歴】

大正15年 静岡県生まれ
昭和19年 興健女子専門学校(現聖路加看護大学)卒業
産業保健婦、高校教諭、臨床看護を経験
昭和24年 国鉄中央病院高等看護学園 教員、教頭
昭和55年 名古屋保健衛生(現藤田保健衛生)大学衛生学部
看護科 客員教授
昭和57年 日本看護協会看護研修学校 校長
昭和61年 北里大学看護学部教授 学科長
平成 8年 聖隷学園浜松衛生短期大学 学長

■系統看護学講座「看護の技術」医学書院、「看護技術ノート」医学書院、
「ビジュアル看護技術」中央法規出版等、看護技術に関する著書多数
厚生大臣表彰2回、宝冠賞授与、平成15年にはナイチンゲール記章
を受賞

—講演骨子—

看護の大学教育が急速に進展する今日、看護実践能力育成に関する社会的要請とともに、看護技術とその教育の見直しが求められている。40有余年に及ぶ看護技術探求の歩みの中で自らが得た看護観を通して、看護技術とその教育の考え方を語り、その本質について後に続く人たちと共に考えたい。



「海外の看護と日本の看護」

21世紀はケアの時代といわれています。看護ケアの質が時代とともに急速に変化しつつあるなか、海外の医療制度や医療提供の実情を看護の目を通して紹介します。日本の看護と比較しながら、海外での施設や家庭での看護のあり方、家族あるいは地域での看護の取り組みについて紹介しながら、皆さんと一緒に海外と日本の看護について考えてみる機会をつくりました。どうぞご参加ください。

受講料は無料です

会場：新潟県立看護大学

開催日時	テーマ	講師	講義内容
第1回 平成17年 6月25日(土) 13:30~15:00	米国の がん看護動向	内布 敦子 (うちぬのあつこ) 兵庫県立大学 看護学部教授	分子生物学の進展によってがん治療の様子は変化したが、依然としてがんが生命に脅威をもたらす疾患であることには変わりがない。治療法の開発はがん患者のQOLに大きく貢献し、生存率は確実に長期化しているが、あふれるような情報、確率で示される生存率、高騰する医療費、患者の意思決定はますます難しくなった。米国医療・看護の紹介をしながら、我が国におけるがん看護の新しい展開について考える。
第2回 平成17年 7月2日(土) 13:30~15:00	イギリスにおける 地域母子保健サー ビスと子ども虐待 予防活動	小林 恵子 (こばやしけいこ) 新潟県立看護大学 講師	イギリスでは地域看護の基盤を訪問におき、その歴史は古く19世紀半ばにさかのぼることができますが、わが国の保健師と同じように、「健康の維持増進、疾病・障害の予防や早期発見」を主な役割としているヘルス・ビジター (Health Visitor) の活動に焦点を当ててお話しします。 ヘルス・ビジターは乳幼児のいる各家庭を訪問しながら、子育て支援や子ども虐待予防活動を行っています。その具体的な取り組みを紹介しながら、わが国のこれからの子育て支援や子ども虐待予防のあり方を考えていきたいと思います。
	イギリスにおける 妊産褥婦 ケアシステム	和田 佳子 (わだけいこ) 新潟県立看護大学 講師	イギリスは、先進国のなかでも積極的にマタニティ政策を進めている国のひとつであるといわれています。正常な経過をたどる妊産褥婦の管理は助産師が中心に行っており、医師との役割分担が明確になっています。イギリスにおける妊娠から分娩後までのケアシステムについて日本と比較しながら紹介していきます。
第3回 平成17年 7月16日(土) 13:30~15:00	諸外国の 在宅ケアの現状から みたわが国の課題	島内 節 (しまのうちせつ) 東京医科歯科大学 大学院保健衛生学 研究科 研究科長 教授	在宅ケアについて先進諸外国とわが国の現状を比較します。そしてわが国の在宅ケアにおいて何に取り組むべきか、緊急課題と将来展望を含めて、特に看護のあり方について述べたいと思います。
第4回 平成17年 7月23日(土) 13:30~15:00	欧米の小児病院に おける子どもの 遊びとこころの 援助	加固 正子 (かこまさこ) 新潟県立看護大学 教授	英国では1960年代から、小児病院には専門の看護師や医師の他、病院保母 (プレレディター) が手厚く配置されている。米国では独自に、入院治療中の子どもを心理的側面から支援するチャイルドライフという有資格者が働いている。オランダでは、クリニクラウン (病院道化師) というボランティアも活躍している。入院治療中の子どもを支える様々な「遊び」の援助を通して、子どものこころのケアの重要性について一緒に考えてみましょう。
第5回 平成17年 7月30日(土) 13:30~15:30	認知症ケアに関連 する諸活動 ~ポートランド市 での体験を ふまえて~	北川 公子 (きたがわきみこ) 新潟県立看護大学 助教授	アメリカはオレゴン州ポートランド市での見聞を中心に、認知症ケアに関連のあるアルツハイマー病協会の活動、Adult Foster Careでの実践、ならびに受療の意思決定を支えるAdvance Directivesの仕組み等について紹介する予定です。

事前申込み不要どなた様も参加できます。

エルダリィ・スクール

サクセスフル・エイジングへの挑戦

男女ともに“人生80年”ということがほぼ可能となった今日、第一線を退いた後の20年余を、健康で明るく健やかに生きることが誰もの願いであると思います。このスクールでは、より健康で活力ある毎日を手にするためのからだ作り、あたま作り、そして病気予防や介護予防などに関する知識と戦略について、共に学びたいと考えています。

受講料は無料です

会場：新潟県立看護大学

開催日時	テーマ	講師	講義内容
第1回 平成17年 10月1日(土) 開講式 13:00~15:00	見やすい表示・ 使いやすいスイッチ —身の回りの 認知科学—	村上 肇 (むらかみはじめ) 新潟工科大学 情報電子工学科教授	「見やすい表示」や「使いやすいスイッチ」を作るには、機械自体の改良だけでなく、人間の特性を踏まえることも重要です。そのような学問領域である「認知科学」について、身近な例を挙げながら紹介していきます。
第2回 平成17年 10月8日(土) 13:00~15:00	高齢期の健康と サプリメント	渡邊 令子 (わたなべれいこ) 県立新潟女子短期大学 生活科学科食物栄養専攻教授	あふれる健康情報の中で不規則な生活や栄養不足の自覚からか、サプリメント（保健機能食品、いわゆる健康食品）の市場規模は急激に拡大しています。しかし、過剰摂取や薬との相互作用などの問題も指摘されています。サプリメントの利用はあくまでも自己責任です。自分の健康を守るために、かじこい利用法について考えてみましょう。
第3回 平成17年 10月15日(土) 13:00~15:00	むらやまちの人々 から支援されて 過ごせる高齢者 居住の模索	深澤 大輔 (ふかざわだいすけ) 新潟工科大学 建築学科教授	介護を必要としている高齢者に対し、これまでの施設介護型から在宅介護への転換が図られています。これまでに住み慣れた環境で知り合いの人々と交流しながら、まちやむらにある我が家で命を全うできる形態について考えていきます。
第4回 平成17年 10月22日(土) 13:00~15:00	物忘れをふせぐ 知恵・物忘れと つきあうコツ	北川 公子 (きたがわきみこ) 新潟県立看護大学 助教授	「最近、人の名前がなかなかでてこない」とか、「(台所までやって来て)今、何を取りに来たんだっけ?」といった経験が、年とともに増えることを気に病んでいませんか。物忘れを過剰に恐れるのではなく、物忘れとうまく付き合いながら、記憶力を維持し、補強する方法を、皆さんとともに学びたいと思います。
第5回 平成17年 10月29日(土) 13:00~15:00	楽しい体力維持の 戦略	澁谷 房子 (しぶやふさこ) 日本トランポビクス 協会常任理事	ミニトランポリンの上でウォーキングをすることにより自然に身体の調整が養われバランス感覚を保つことにつながり、ふらつきや転倒が予防できます。トランポビクス（有酸素運動）を体験してもらうことによって身体が喜び、心がおどる楽しさを味わっていただけます。
第6回 平成17年 11月5日(土) 13:00~15:00	車椅子の処方と 開発が望まれる 機能	寺島正二郎 (てらしましょうじろう) 新潟工科大学機械制御 システム工学科助教授	様々な車椅子の種類や機能を紹介しながら、利用者に適した車椅子の選び方をお話しします。また、「こんな機構があったらいいな」や「こんな形もおもしろい」など現在の車椅子にこだわらないで、新しい車椅子の形を一緒に考えます。
第7回 平成17年 11月12日(土) 13:00~15:00	介護予防は 生活習慣病の 治療から	吉山 直樹 (よしやまなおき) 新潟県立看護大学 教授	「ねたきり」発生の原因の第1位が脳血管障害であり、脳血管障害の重要危険因子が高血圧・高脂血症・糖尿病等の生活習慣病です。従って我が国では、無治療で放置されたり、十分な治療がなされていない生活習慣病の患者さんが、キチンとした治療のレールに乗るだけで「ねたきり」の方は激減する、と言われていています。これらの病気を楽しく治療するには、どうしたら良いのか、皆様と考えてみましょう。
第8回 平成17年 11月19日(土) 閉講式 13:00~15:00	介護予防の話	中島紀恵子 (なかじまきえこ) 新潟県立看護大学 学長	ここでは認知症高齢者（痴呆患者）の介護予防とサービスに関する最新情報をお話しします。介護予防とは、①高齢者が要介護状態になることをできるだけ防ぐこと。②介護される状態であっても状態が悪化しないようにすること。目標は③できる限り、その人の自立した生活を支援することです。今後は介護予防サービスの開発が一層重要になります。

※平成17年9月22日（木）までに、電話、FAXまたはe-mailのいずれかで、事前に申込みしてください。氏名、住所、年齢、性別、連絡先電話番号をお知らせください。定員は50名で、申込み順に受け付けます。70歳以上の方大歓迎です。



*** 看護研究の基礎知識 ***

看護の現場は研究テーマの宝庫です。ここでは日常の看護業務の中から研究テーマの見つけ方、研究計画の立て方、研究における倫理的配慮、研究方法、論文の書き方などの一連の看護研究の基礎知識をわかりやすく学びます。看護ケアに役立つ研究の基礎を学んでみませんか？

受講料は無料です

平成17年7月9日(土)・10日(日)

会場：新潟県立看護大学

開催日時	テーマ	講義内容	講師
<p>第1回</p> <p>平成17年 7月9日(土) 9:20~12:20 (受付 9:00~)</p> <p>(開講式)</p>	<p>講義Ⅰ 看護研究の 意義と役割</p>	<p>看護研究の意義と役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「知る」ことへの希求 ・ 研究の意義 ・ 看護研究の動向と課題 ・ 看護研究における倫理的配慮 	<p>北川 公子 (きたがわきみこ) 新潟県立看護大学 助教授</p>
<p>第2回</p> <p>平成17年 7月10日(日) 9:20~12:20 (受付 9:00~)</p>	<p>講義Ⅱ 看護研究の 基礎</p>	<p>看護研究の基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究のトピックを見つける ・ 文献検索と文献検討 ・ 研究疑問の洗練と研究背景の展開 ・ 研究計画書の作成 	
<p>第3回</p> <p>平成17年 7月10日(日) 13:00~16:00 (閉講式)</p>	<p>講義Ⅲ 研究方法の 選択 他</p>	<p>研究方法の選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 量的研究デザイン ・ 質的研究デザイン ・ データ収集方法 ・ データ分析方法 ・ 研究結果をまとめ、結論を導く ・ 論文の作成と投稿 	

※7月9日(土) 13:00~15:00の間は、一般公開講座特別講演「自らの歩みから得た看護観を通して看護技術の意味を問う」に参加していただきます。

※平成15、16年度「看護研究の基礎知識」を受講しなかった方を対象とします。参加ご希望の方(県内看護職者)は、電話、FAXまたはe-mailのいずれかで、氏名、自宅住所、勤務先、連絡先電話番号をお知らせください。定員は60名程度で、全日程参加可能な方に限ります。申込期限は平成17年6月24日(金)です。なお、昼食は各自でご用意ください。

*** 看護研究ステップアップコース ***

一連の看護研究の基礎知識を学んだ方を対象に実際に研究計画から論文作成、中間発表までを行います。ここでは、指導を受けながら看護研究の実際を学ぶことを通し、施設での研究指導者としての能力を養います。

受講料は無料です

平成17年8月末～平成18年2月

会場：新潟県立看護大学

開催日時	テーマ	講師	講義内容
平成17年 10月1日(土) 9:20～10:50	講義	朝倉 京子 (あさくらきょうこ) 新潟県立看護大学 助教授	論文の作成
10:50～12:20 (受付 9:00～)	統計科学的な 看護研究の まとめ方入門	橋本 明浩 (はしもとあきひろ) 新潟県立看護大学 助教授	<ul style="list-style-type: none"> EXCELでの統計手法入門 EXCELを使ったやさしい仮説検定と推計 暴露群と非暴露群の科学的検証
平成17年8月から 平成18年1月まで 毎月1回程度 ※担当指導者により、日程・時間調整	研究の実際	新潟県立看護大学 教員	<ul style="list-style-type: none"> 研究計画書指導 研究経過を見ながらの個別指導 研究のまとめ方および報告書の書き方、発表のしかたについての指導
中間報告会 平成18年 2月18日(土) 10:00～12:00 (受付 9:00～)	研究発表の実際	新潟県立看護大学 教員	<p>研究成果の発表</p> <p>※あらかじめA4で1枚程度の抄録を提出していただきます。</p> <p>※中間報告会終了後、2週間以内に発表原稿の全文を提出していただきます。</p>

※平成15、16年度「看護研究の基礎知識」を受講した方で、平成16年度「看護研究ステップアップコース」を受講しなかった方を対象とします。受講希望の方は申込み時に研究計画書をご提出ください。形式については事務局にお問い合わせください。

※参加ご希望の方(県内看護職者)は、電話、FAXまたはe-mailのいずれかで、氏名、自宅住所、勤務先、連絡先電話番号、看護経験年数をお知らせください。定員は15名程度で、全日程参加可能な方に限ります。申込期限は平成17年6月24日(金)です。なお、昼食は各自でご用意ください。平成18年2月18日(土)の中間発表会のみに参加され、ご覧になりたい方も、同様にお知らせください。申込期限は平成18年2月3日(金)です。



看護英会話夏期セミナー

医療現場では、英語でコミュニケーションを行う機会が増えているのではないのでしょうか。本講座では、そのような現状に対応できるように、初級から中級程度の英語を聞く・話す力を身に付けるための講座をプログラムしてみました。外国人講師と会話を行う場も設けましたので、ぜひご参加ください。

受講料は無料です

会場：新潟県立看護大学

開催日時	講義内容	講師
<p>第1日 平成17年 8月29日(月) 受付 9:30～ 開講式</p> <p>1限 10:00～11:00 2限 11:10～12:10 昼食 3限 13:00～14:00 4限 14:10～15:10</p>	<p>1限：英語の聞く力 2限：英語の話す力</p> <p>3限：外来での会話 4限：病棟での会話</p>	<p>中村 博生 (なかむらひろき) 新潟県立看護大学 助教授</p> <p>山本 淳子 (やまもとじゅんこ) 新潟県立看護大学 講師</p>
<p>第2日 平成17年 8月30日(火)</p> <p>1限 10:00～11:00 2限 11:10～12:10 昼食 3限 13:00～14:00 4限 14:10～15:10</p> <p>閉講式</p>	<p>1限：外国人講師によるレッスンⅠ 2限：外国人講師によるレッスンⅡ</p> <p>3限：外国人講師との会話Ⅰ (個人&グループレッスン)</p> <p>4限：外国人講師との会話Ⅱ (個人&グループレッスン) (両日とも参加者の人数によって内容が変わる場合がありますのでご了解ください)</p>	<p>外国人講師</p>

※参加ご希望の方(県内看護職者)は、電話、FAXまたはe-mailのいずれかで、氏名、自宅住所、勤務先、連絡先電話番号をお知らせください。定員は約40名で、全日程参加可能な方が優先されます。申込期限は平成17年6月末日です。なお、昼食は各自でご用意ください。(秋期セミナーに参加予定の方も参加できます)



看護英会話秋期セミナー

本講座では、看護の実践的な場面で英語での対話を練習します。初級から中級程度の方を対照として、ロールプレイを交えながら、専門用語の使い方を学びます。また、外国人講師と会話を行う場も設けましたので、ぜひご参加ください。

受講料は無料です

会場：新潟県立看護大学

開催日時	講義内容	講師
<p>第1日 平成17年 9月26日(月) 受付 9:30~ 開講式</p> <p>1限 10:00~11:00 2限 11:10~12:10 昼食 3限 13:00~14:00 4限 14:10~15:10</p>	<p>1限：病棟での会話Ⅰ 2限：病棟での会話Ⅱ</p> <p>3限：病棟での会話Ⅲ 4限：病棟での会話Ⅳ</p>	<p>中村 博生 (なかむらひろき) 新潟県立看護大学 助教授</p> <p>山本 淳子 (やまもとじゅんこ) 新潟県立看護大学 講師</p>
<p>第2日 平成17年 9月27日(火)</p> <p>1限 10:00~11:00 2限 11:10~12:10 昼食 3限 13:00~14:00 4限 14:10~15:10</p> <p>閉講式</p>	<p>1限：外国人講師によるレッスンⅠ 2限：外国人講師によるレッスンⅡ</p> <p>3限：外国人講師との会話Ⅰ (個人&グループレッスン)</p> <p>4限：外国人講師との会話Ⅱ (個人&グループレッスン) (両日とも参加者の人数によって内容が変わる場合がありますのでご了解ください)</p>	<p>外国人講師</p>

※参加ご希望の方(県内看護職者)は、電話、FAXまたはe-mailのいずれかで、氏名、自宅住所、勤務先、連絡先電話番号をお知らせください。定員は約40名で、全日程参加可能な方が優先されます。申込期限は平成17年7月末日です。なお、昼食は各自でご用意ください。(夏期セミナーに参加予定の方も参加できます)



看護情報処理冬期セミナー

日常業務の中で利用する看護情報をより効率的に処理できることを目的として、習熟の程度に応じて学習できるようにプログラムしました。事前の学習は不要です。また、レベルは、初級から中級を想定していますが、初心者の方も大歓迎です。

受講料は無料です

開催日

第1回：平成17年12月15日(木)・16日(金)

第2回：平成18年 1月19日(木)・20日(金)

会場：新潟県立看護大学

開催日時	講義内容	講師
第1日 受付 10:00～ 開講式 1限 10:30～11:50 昼食 2限 12:50～13:50 3限 14:00～15:00 4限 15:10～16:10	1限：Windows 基本操作 2限：表計算の基本的な仕組み 3限：インターネットを使ったデータ収集 4限：表計算と集計グラフの習熟	橋本 明浩 (はしもとあきひろ) 新潟県立看護大学 助教授
第2日 1限 10:00～11:00 2限 11:10～12:10 昼食 3限 13:00～14:00 4限 14:10～15:30 閉講式	1限：より良いプレゼンテーションをめざして 2限：正しいワードプロセッシング 3限：統計分析とデータの見方と解釈 4限：総合討論	

※参加ご希望の方(県内看護職者)は、電話、FAXまたはe-mailのいずれかで、氏名、自宅住所、勤務先、連絡先電話番号をお知らせください。定員は各回12名で、全日程参加可能な方が優先されます。なお、第1回と第2回は同じ内容となりますから、双方受講することはできません。申込期限は平成17年10月末日です。また、昼食は各自でご用意ください。



新潟県看護職員臨地実習指導者養成講習会 —専門職への公開講座—

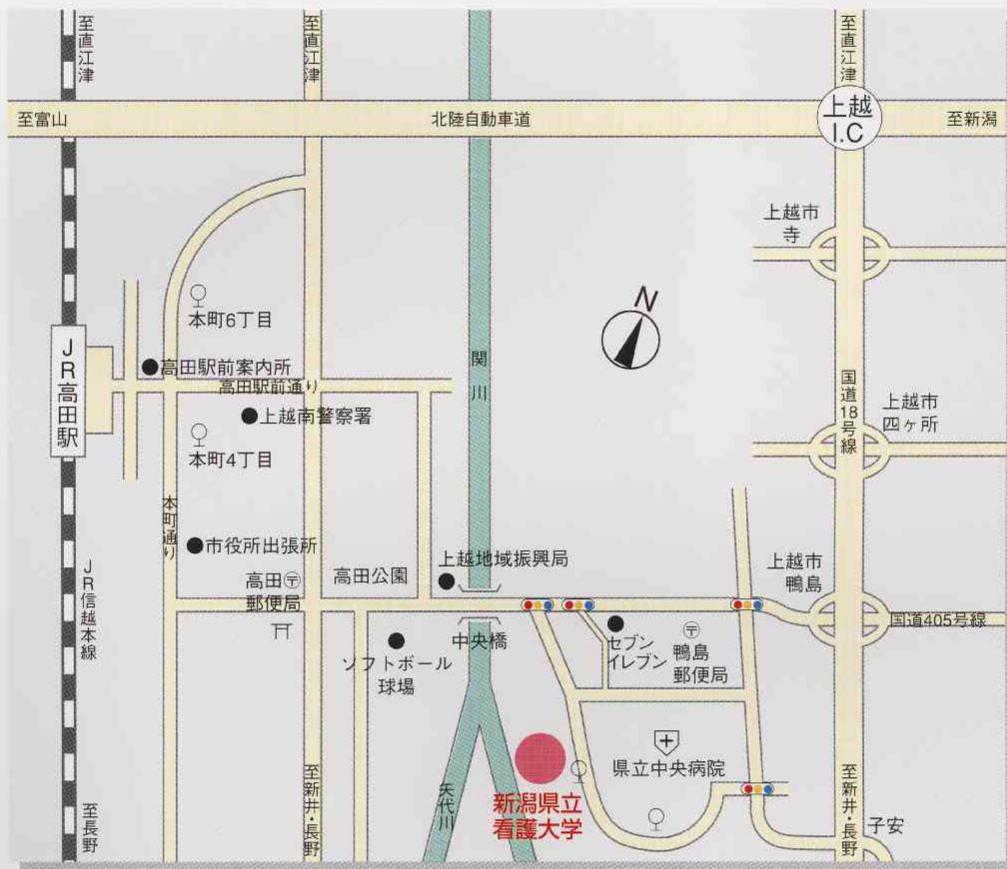
新潟県立看護大学看護研究交流センターでは、新潟県看護職員臨地実習指導者養成講習会を企画・運営しています。今年度は8月中旬から10月中旬まで開催しますが、次の3つの講義を看護職の方々に公開しておりますので、どうぞご参加ください。

受講料は無料です

会場：新潟県立看護大学

開催日時	テーマ	講師
平成17年 8月22日(月) 13:15～15:45	看護実践能力の向上に向けて	中島紀恵子 (なかじまきえこ) 新潟県立看護大学学長
平成17年 8月30日(火) 13:15～15:45	いきいきした看護活動の基礎 —自己理解とネゴシエーションスキル— ※実技演習を行いますので、実技に参加希望の方のみとします。	宗像 恒次 (むなかたつねつぐ) 筑波大学大学院 人間総合科学研究科教授
平成17年 10月11日(火) 10:00～12:30	楽しく学ぶクリティカルシンキング	野地 有子 (のじありこ) 新潟県立看護大学教授

※聴講をご希望される方は、8月19日（金）までに電話、FAXまたはe-mailで参加人数をお知らせください。



新潟県立看護大学

看護学部 看護学科

住所／新潟県上越市新南町240番地
 問い合わせ先／〒943-0147 新潟県上越市新南町240番地
 新潟県立看護大学 教務学生課
 TEL 025-526-2811 FAX025-526-2815
 E-mail kyoumu@niigata-cn.ac.jp

企画・運営：看護研究交流センター 生涯学習・研修支援部会

